

オーストラリア金融政策(2018年8月)

～インフレ率が低迷を続ける中で、政策金利の据え置きが続く～

2018年8月7日

お伝えしたいポイント

- RBA(オーストラリア準備銀行)は政策金利を1.5%に据え置き
- 基調的なインフレ率は依然としてRBAの目標水準を下回る
- 雇用環境の改善が進む中、インフレ率上昇のカギは賃金上昇率の加速
- 豪ドルは外部要因によって左右される展開が続きやすいが、長期的には底堅い推移を見込む

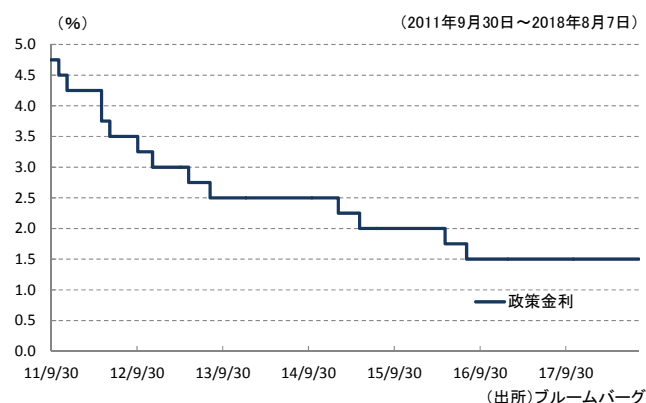
<RBAは政策金利を1.5%に据え置き>

2018年8月7日(現地、以下同様)、RBA(オーストラリア準備銀行)は政策金利を1.5%に据え置くと発表しました。据え置きは事前の市場予想通りでした。

RBAは声明文で、中国経済がやや減速しており、当局が政策の緩和に乗り出していることや、米国の通商政策がもたらす世界経済の不確実性について言及しました。オーストラリア経済については、低金利政策の下で引き続き堅調さを維持するとの見通しを示しました。

こうした中で、失業率の低下とインフレ目標の達成に向けた進展が期待されるものの、その進展は緩やかなものになる可能性が高いとし、当面の政策金利の据え置きが示唆されています。

《政策金利の推移》

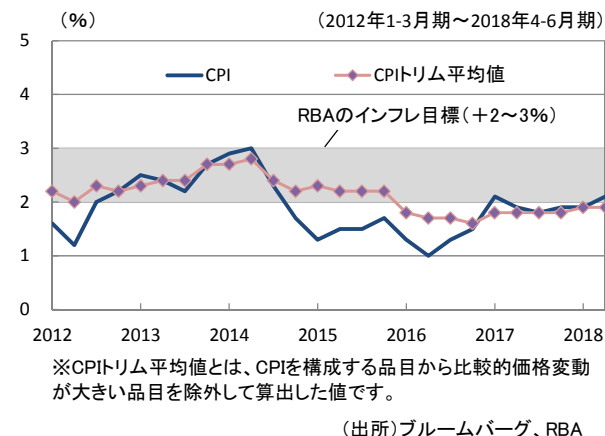


<基調的なインフレ率は依然としてRBAの目標水準を下回る>

7月25日に発表された2018年4-6月期のCPI(消費者物価指数)は前年比2.1%の上昇となりました。CPIの上昇率は市場予想をわずかに下回ったものの、2017年1-3月期ぶりに、RBAのインフレ目標水準である+2~3%の範囲内に収まりました。

しかし、一時的な要因の影響を取り除いた基調的なインフレ率としてRBAが重視している、CPIトリム平均値については前年比1.9%の上昇と、依然としてRBAのインフレ目標水準を下回る状況が続いています。

《CPI(前年比)の推移》



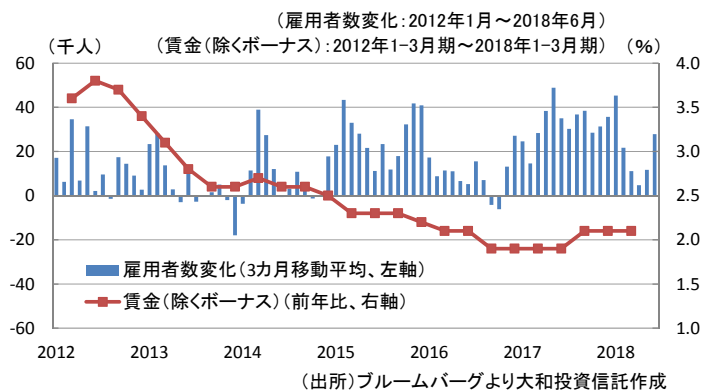
※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

＜雇用環境の改善が進む中、インフレ率上昇のカギは賃金上昇率の加速＞

また7月19日に発表された6月の雇用統計は、雇用者数の増加幅が市場予想を大幅に上回る結果となりました。減速傾向にあった雇用の伸びが足元で再度加速に転じたことで、RBAは労働市場の堅調さについて自信を深めるものとみられます。

RBAは物価の安定的な上昇には賃金上昇率の加速が必要であるとしていますが、雇用環境の改善が進む一方で、依然として賃金は伸び悩んでいます。労働市場の改善が賃金の上昇に反映されているかどうかを確認する上で、8月15日に発表される4-6月期の賃金指数が注目されます。

《雇用者数の変化と賃金上昇率の推移》



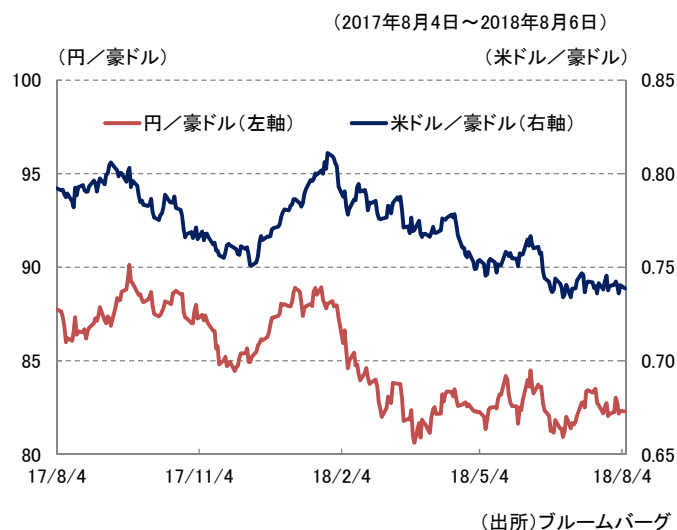
＜豪ドルは外部要因によって左右される展開が続くが、長期的には底堅い推移を見込む＞

景気拡大の世界最長記録の更新を続けるなどオーストラリア経済が堅調さを維持している一方で、賃金上昇率が伸び悩んでいることなどから、インフレ率は依然として低迷しています。当社ではインフレ率が低迷を続ける中で、RBAが年内は政策金利を据え置くと見込んでいます。

RBAの金融政策が材料になりにくい環境の中では、今後も豪ドルは米中貿易戦争への懸念など、外部要因に左右される展開が続くかとみられます。しかし長期的には、インフレ率の上昇を通じたRBAの利上げ観測の高まりから、豪ドルは底堅く推移するものと見込んでいます。

以上

《為替の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

- ・オーストラリア金融政策(2018年7月)～政策金利は据え置き。オーストラリア経済は堅調さを維持～(2018/7/3)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180703_2.html
- ・オーストラリア金融政策(2018年6月)～政策金利は据え置き。財政黒字化の達成時期は1年前倒しに～(2018/6/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180605_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2018年5月)～政策金利は据え置き。企業の景況感は改善が進む～(2018/5/1)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180501_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2018年4月)～政策金利は据え置き。オーストラリアは景気拡大の世界最長記録をさらに更新～(2018/4/3)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180403_1.html
- ・ニュージーランド出張報告(2018年3月)～新政権への注目が集まるニュージーランドの「今」～(2018/3/28)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180328_1.html
- ・オーストラリア出張報告(2018年3月)～インフラ投資に沸くオーストラリア経済の「今」～(2018/3/20)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180320_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2018年3月)～労働市場は改善も政策金利は当面据え置きの見込み～(2018/3/6)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180306_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2018年2月)～CPI上昇率が緩やかな加速にとどまる中、政策金利は当面据え置きの見込み～(2018/2/6)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180206_3.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年12月)～政策金利は据え置き。RBAは低金利政策を続けながら、景気・物価の改善を待つ～(2017/12/6)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171206_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年11月)～政策金利は据え置き。インフレ率の低迷から当面の政策金利は据え置きを見込む～(2017/11/7)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171107_1.html
- ・オーストラリア訪問記～鉱石大国の今をみた～(2017/11/2)
- ・オーストラリア金融政策(2017年10月)～政策金利の据え置きを継続～(2017/10/3)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171003_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年9月)～政策金利は据え置き、賃金の伸びはいまだ低調も今後に期待～(2017/9/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170905_2.html

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>